

選挙管理委員会からの連絡です。今日から、前期生徒会役員選挙の選挙活動が始まります。そこで、今から2つのことについての話をします。大切な話なので、しっかりと考えながら聞いてください。

まず、選挙とは何かについて話します。皆さんは、選挙は何のために行うのだと思いますか？少し考えてください…。どんなことが思い浮かびましたか？私たちは、家族や地域、学校など様々な場で暮らしています。私たちの生活や社会をよりよくしていくためには、私たちの意見を反映させてくれる、代表者が必要であり、その代表者を決めることが選挙です。これを学校に置き換えてみると、旭中は生徒が約900名と教員約70名で構成される一つの社会として、生活をしています。そんな旭中を今よりもよくしていくための代表者を決めるのが生徒会役員選挙です。そのため、「選挙なんか自分自身に関係ない」と思っている人がいたら大きな間違いです。私たち一人ひとりの旭中生のために選挙があります。そのため、自分の一票に責任があることを自覚してください。

次に、たくさんいる候補者をどのような視点で選べば良いのかについて話します。

旭中が今よりも、もっとよくなっていくための代表者を決めることが生徒会役員選挙です。そのため、友達だから、仲がいいから、知っている人だから、「投票して！」と頼まれたから、お世話になっているから、クラスが同じだから…。という基準で立候補者を選ぶということはどう思いますか？それは本当に旭中のためになっていますか？では、何を基準に立候補者を選べばいいか悩みますよね…。そして、立候補者を選んでいくためにはどんなことが大切だと思いますか？

今日の朝、昇降口でポスターを持った人がいたと思います。今日から選挙活動が始まりました。今回、定員1名に対して会長2名。定員6名に対して役員11名と多くの人が立候補してくれました。例年は信任投票が多く、ここまでの立候補者の数はありませんでした。これは、とても嬉しいことであり旭中にとって大きな力だと思います。その反面、あなたの一票で当選する人もいれば、落選する人もいます。それだけ、一人ひとりの一票に責任があることを自覚してください。

だからこそまずは、13名の顔と名前を覚えることから始めましょう。そして、昼の放送、各昇降口にある公約実現案、そして選挙当日の演説などで判断してください。

この人なら、旭中をよりよくしてくれる。この人なら、旭中を任せられる。この人なら、どんなことでも学校のために責任をもって取り組んでくれる。という視点を持って選挙活動を見て判断してください。また、身近な大人や友達などと選挙の話をするもの一つの手段です。

くり返しになりますが、選挙は、私たち一人ひとりの旭中生のためにあります。あなたの一票が旭中をよりよくします。自分の一票に責任を持てるように選挙に臨みましょう。

以上、選挙管理委員会からの連絡でした。